

## 平成 2 8 事業年度

# 公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果 【抜粋】

### 小項目別評価

平成 2 9 年 8 月

公立大学法人福知山公立大学評価委員会

◆小項目数は、合計126。

- ・教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 (56) (教育36、研究8、地域協働12)
- ・業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置 (24)
- ・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 (20)
- ・自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置 (11)
- ・その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置 (11)
- ・福知山市の規則で定める業務運営に関する事項 (4)

・ \_\_\_\_\_ は、評価対象項目。

- ・ 教育研究に係る小項目については、年度評価においては、専門的観点からの評価は行わず、進捗状況、自己評価をもとに評価を行う。

目次	
法人の概要	・・・ 1
小項目別評価結果一覧	・・・ 3
第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	・・・ 4
1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置	・・・ 4
(1) 教育の成果に関する目標を達成するための取組	・・・ 4
①自由な発想と行動力、分析企画力、実行力、公共マインドの涵養	・・・ 4
②行動・実践の基盤である生きていくための総合力(人間力)を涵養する教養教育の重視	・・・ 4
③理論と応用の学びを踏まえた実践・実習による学びの徹底	・・・ 5
④主体的な学びの支援・推進	・・・ 5
(2) 教育の内容等に関する目標を達成するための措置	・・・ 6
①学位授与の明確化	・・・ 6
②教育内容・手法の充実	・・・ 7
③入学者の受入れに関する目標を達成するための措置	・・・ 9
(3) 教育の実施体制に関する目標を達成するための措置	・・・ 10
①将来構想の策定	・・・ 10
②学生支援	・・・ 10
③国際交流の推進	・・・ 11
2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置	・・・ 12
(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	・・・ 12
①地域に資する地域経営研究の拠点大学	・・・ 12
②開かれた学びの拠点として、外部団体との連携・協力の推進	・・・ 12
(2) 研究の実施体制に関する目標を達成するための措置	・・・ 13
①外部資金の獲得	・・・ 13
②自治体等からの委託事業・共同事業の獲得	・・・ 13
③研究費の適切な配分と執行	・・・ 14
3 地域協働(地域貢献)の質の向上に関する目標を達成するための措置	・・・ 15
(1) 多世代人材育成と持続可能な社会形成への学術アプローチ	・・・ 15
①公開講座や大学施設利用の促進	・・・ 15
②大学の知的資源等の有効活用推進	・・・ 15
(2) 地域連携・地域協働の実施体制の整備	・・・ 16
①「北近畿地域連携センター」の設置	・・・ 16
②学外の知的資源等の有効活用推進	・・・ 16
③北近畿地域の自治体との連携強化推進	・・・ 17
④「まちかどキャンパス」の実施	・・・ 17
(3) 地域連携と社会貢献	・・・ 18
(4) 地域連携体制の構築による安定した就職先の確保	・・・ 19
第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	・・・ 20
1 経営体制に関する目標を達成するための措置	・・・ 20

(1) 安定的・機動的な管理体制の構築	・・・ 20
①理事長(学長)中心の管理体制	・・・ 20
②企画機能の強化	・・・ 20
③機動的な学内運営	・・・ 20
(2) 外部意見の取り込みと経営改善への取り組み	・・・ 21
①外部意見の取り込み	・・・ 21
②経営改善への取り組み	・・・ 21
2 組織・人事制度と人材育成に関する目標を達成するための措置	・・・ 22
(1) 教職員の養成	・・・ 22
①ファカルティ・ディベロップメント(FD)の推進	・・・ 22
②スタッフ・ディベロップメント(SD)の推進	・・・ 23
(2) 人事評価制度の構築と導入	・・・ 23
①人事評価制度の導入	・・・ 23
3 地域に開かれた大学づくりに関する目標を達成するための措置	・・・ 24
(1) 大学活動の積極的周知と市民ニーズの把握	・・・ 24
①大学活動の積極的周知	・・・ 24
②市民ニーズの把握	・・・ 24
(2) 外部との意思疎通	・・・ 25
①外部有識者の知見	・・・ 25
②市民向け報告会	・・・ 25
③ステークホルダーからの意見聴取	・・・ 25
4 大学運営の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	・・・ 26
(1) 効率的・合理的な体制の整備	・・・ 26
①人材の有効活用	・・・ 26
②効果的、効率的な予算執行	・・・ 26
(2) 体制の維持・向上	・・・ 27
(3) 多様で柔軟な人事制度	・・・ 27
①定員規模	・・・ 27
②効率的な運営	・・・ 27
第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	・・・ 28
1 安定的な経営の確保に関する目標を達成するための措置	・・・ 28
(1) 定員増等	・・・ 28
(2) 効果的、効率的な予算執行	・・・ 28
2 多様な人事・給与制度の構築と導入に関する目標を達成するための措置	・・・ 29
(1) 人事評価制度の導入	・・・ 29
3 入学志願者確保に関する目標を達成するための措置	・・・ 30
4 自己財源の増加に関する目標を達成するための措置	・・・ 31
(1) 料金の設定	・・・ 31
①学生納付金額	・・・ 31
②大学施設利用料金	・・・ 31
(2) 外部資金の獲得	・・・ 32
①外部資金獲得の推進	・・・ 32
②情報の整理、提供	・・・ 32

(3) 自己財源比率の増加	・・・33
①定員増等	・・・33
②効果的、効率的な予算執行	・・・33
5 経費の抑制に関する目標を達成するための措置	・・・34
第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置	・・・34
1 設立団体による評価に関する目標を達成するための措置	・・・34
(1) 評価委員会による評価	・・・34
(2) 業務運営や教育研究活動の向上	・・・34
2 自己点検及び自己評価並びに第三者評価に関する目標を達成するための措置	・・・35
(1) 認証評価（第三者評価）	・・・35
(2) 自己点検・評価	・・・35
(3) 内部質保証システム	・・・35
3 情報公開と広報活動に関する目標を達成するための措置	・・・36
(1) 積極的な情報提供	・・・36
(2) 効果的な広報活動	・・・37
①広報活動の方針	・・・37
②広報体制	・・・37
③効果的な広報活動	・・・37
第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	・・・38
1 コンプライアンス（法令遵守）に関する目標を達成するための措置	・・・38
2 施設設備の整備・管理に関する目標を達成するための措置	・・・39
3 安全管理に関する目標を達成するための措置	・・・40
(1) 危機管理体制	・・・40
(2) 職場環境	・・・40
(3) 情報セキュリティ	・・・40
4 環境への配慮に関する目標を達成するための措置	・・・41
第9 予算、収支計画及び資金計画	・・・42
第10 短期借入金の限度額	・・・42
第11 出資等に係る不要財産の処分に関する計画	・・・42
第12 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	・・・42
第13 剰余金の使途	・・・42
第14 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項	・・・43
(1) 施設及び設備に関する計画	・・・43
①現状把握と対応	・・・43
②新たな施設及び設備等	・・・43
③維持管理	・・・43
(2) 人事に関する計画	・・・43
(3) 積立金の使途	・・・43
(4) その他法人の業務運営に関し必要な事項	・・・43

## I 法人の概要

### 1 基本情報

- (1) 法人名 公立大学法人福知山公立大学
- (2) 所在地 京都府福知山市字堀3370番地
- (3) 設立団体 福知山市
- (4) 設立根拠法 地方独立行政法人法
- (5) 設立認可年月日 平成27年11月24日
- (6) 設立登記年月日 平成28年4月1日
- (7) 資本金 1,469,420,000円
- (8) 理事長（代表者） 井口 和起
- (9) 法人の目的

この公立大学法人は、教育のまち福知山における「学びの拠点」として、地方独立行政法人法に基づき、大学を設置し、及び管理することにより、総合的な知識と専門的な学術を深く教授研究するとともに、地域協働型教育研究を積極的に展開することにより、地域に根ざし、世界を視野に活躍できる高度な知識及び技能を有する人材を育成し、北近畿地域の持続可能な地域社会の形成と地方創生に寄与することを目的とする。

### (10) 法人の業務

- ア 公立大学を設置し、これを運営すること。
- イ 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。
- ウ 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。
- エ 地域の生涯学習の充実に資する多様な学習機会を提供すること。
- オ 公立大学における教育研究成果の普及及び活用を通じ、地域社会及び国際社会に貢献すること。
- カ 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。

### (11) 基本理念

市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学

### 2 設置する大学の学部学科構成

大学	学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員	在籍学生数
福知山公立大学	地域経営学部	地域経営学科	40人	5人	180人	120人
		医療福祉マネジメント学科	10人	2人	74人	28人
		計	50人	7人	254人	148人

※平成28年5月1日現在。平成29年4月より、医療福祉マネジメント学科は医療福祉経営学科と改称している。

### 3 組織、運営体制

#### (1) 役員

理事長（学長）	井口 和起
理事（副学長）	富野 暉一郎
理事（事務局長）	山本 裕一
理事（非常勤）	差峯 賢次※平成28年6月17日まで
理事（非常勤）	大槻 秀明
理事（非常勤）	新川 達郎
監事（非常勤）	松尾 尚昭
監事（非常勤）	小嶋 勝

#### (2) 専任教職員数

教員	教授	13人
	准教授	6人
	助教	3人
	計	22人

事務職員 13人

専任教職員計 35人

※平成28年5月1日現在

※平成28年10月1日より教員（准教授）が1人増員している。

### 4 審議機関

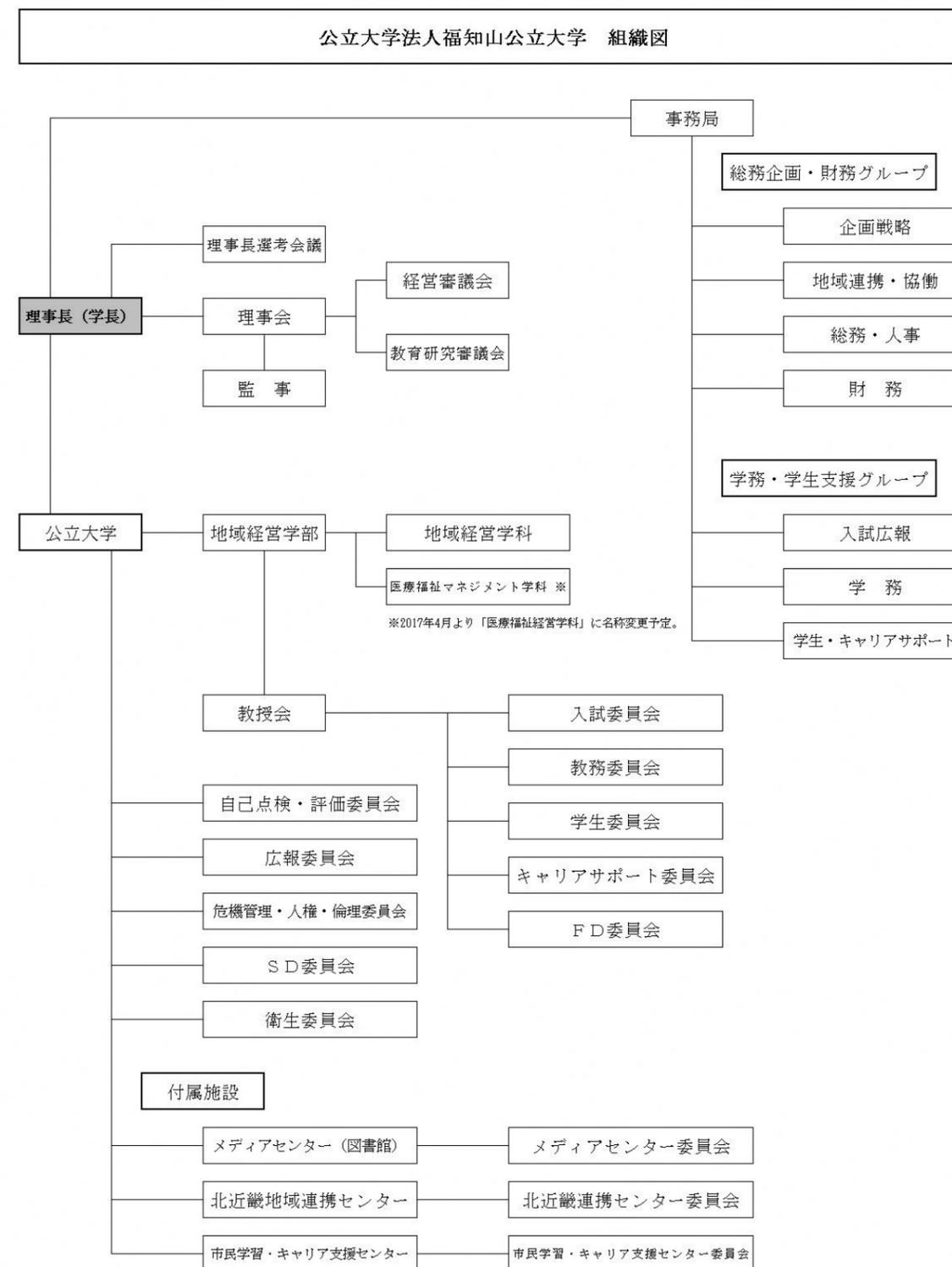
#### (1) 経営審議会

委員（議長）	井口 和起
委員	山本 裕一
委員	差峯 賢次※平成28年6月17日まで
委員	大槻 秀明
委員	金田 悦生
委員	長坂 勉
委員	仁張 直敏
委員	村上 裕子
委員	和久 明

#### (2) 教育研究審議会

委員（議長）	井口 和起
委員	富野 暉一郎
委員	新川 達郎
委員	平野 真
委員	矢口 芳生
委員	石川 一郎
委員	河村 能夫
委員	坂根 文伸
委員	星野 明子

### 5 組織図（平成28年4月1日現在）



小項目別評価結果一覧

大項目番号	項目	項目数	評価委員会評価結果					評定平均値
			5 年度計画を大幅に上回って実施している（特に優れる若しくは顕著な成果がある）	4 年度計画を上回って実施している（上回る若しくは十分な実施）	3 年度計画を概ね実施している	2 年度計画を十分に実施できていない（下回る若しくは実施が不十分）	1 年度計画を大幅に下回っている	
1	第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置	36	0	3	33	0	0	3.1
			0.0%	8.3%	91.7%	0.0%	0.0%	
2	第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置	8	0	0	8	0	0	3.0
			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
3	第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 3 地域協働（地域貢献）の質の向上に関する目標を達成するための措置	12	0	2	9	1	0	3.1
			0.0%	16.7%	75.0%	8.3%	0.0%	
4	第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	24	0	0	23	1	0	3.0
			0.0%	0.0%	95.8%	4.2%	0.0%	
5	第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	20	0	2	16	2	0	3.0
			0.0%	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%	
6	第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置	11	0	0	11	0	0	3.0
			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
7	第8 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	11	0	1	10	0	0	3.1
			0.0%	9.1%	90.9%	0.0%	0.0%	
8	第14 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項	4	0	0	4	0	0	3.0
			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	合計	126	0	8	114	4	0	3.0
			0.0%	6.3%	90.5%	3.2%	0.0%	

**項目別の状況**

**第4 教育研究等の質の向上に関する目標**

小項目数

- 1 教育の質の向上に関する目標  
 (1) 教育の成果に関する目標

36

<b>中期目標</b>	教育研究において、地域、自国、そして世界に対する理想を持ち、教養・専門的知識を生涯にわたって学修し、それを実践する力を涵養する。特に、地域協働型教育研究を通して、創造的思考力、課題解決力、協働・協調力、コミュニケーション力など、社会人に必要となる基礎能力を涵養する。地域社会そのものを教育の場としたフィールドワークやインターンシップに主体的に取り組み、地域の人や資源を教材とした教育研究を実践する中で、地域社会が抱える様々な課題解決に向け、関係者や関係機関等との協議調整、企画立案や提案を行うことができる人材を育て、地域社会に還元する。
-------------	--

中期計画	年度計画	法人の自己点検（計画の進捗状況等）		評価委員会による評価結果	
		計画の実施状況	評価区分	評価のポイント、委員会確認事項	評価区分
<b>第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置</b>					
<b>1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置</b>					
<b>(1) 教育の成果に関する目標を達成するための取組</b>					
<b>①自由な発想と行動力、分析企画力、実行力、公共マインドの涵養</b>					
大学の理念の実現と発展に必要な長期的な戦略を計画し、地域に根ざし、世界に通用する高い専門能力と多角的な視点を持ち、さらに、地域社会の様々な分野におけるニーズに対応した指導的役割を果たせる人材を育成するための自由な発想と行動力、分析企画力、実行力、公共マインドを涵養する。	1 現行カリキュラムを見直すとともに、教育成果の測定方法を検討する。	現行のカリキュラムについてディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づいて必要な科目を配置した。教育の特徴である実践教育の科目を再配置した。実践教育の科目（基礎力演習Ⅰ・Ⅱ）においては、知識や技能がどの程度身についたか自己評価する機会を設けた。学修成果の測定方法は、学修ポートフォリオを活用することとし、引き続き検討することとした。	3		3
	2 大学の基本理念である地域協働の一環として、地域の自治体や企業などから講師を招き、特別講義や講演を実施する。	「公共経営演習Ⅰ・Ⅱ」の科目において、前学期に福知山市の行政職員13人を招き講義を行った。後学期は北近畿地域で活躍しているキーパーソンを招聘し、講義を行った。	3		3
<b>②行動・実践の基盤である生きていくための総合力(人間力)を涵養する教養教育の重視</b>					
幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、創造的思考力、課題解決力、協調・協働力、コミュニケーション力といった社会人基礎力など、行動・実践の基盤である生きていくための総合力(人間力)を涵養するためにインターンシップ等も取り入れた教養教育を実践する。	3 幅広い視野、豊かな人間性、生きていくための総合力(人間力)を涵養するため、ベーシック(教養科目群)及び実践教育科目を置く。	平成29年度カリキュラムにおいて、基礎科目に様々な教養科目(例:教育学、地理学、政治学等)を配置した。教育課程の再編(カリキュラム変更)にあたっては、教養科目を増やした(科目数:19科目から23科目に)。また、実践教育科目(地域経営演習Ⅰ～Ⅳなど)を配置した。	4		4
	4 地域における実践力を涵養するために、「福知山公立大学開学記念連続講演会」を開催する(計7回)。	地域社会に貢献する大学の姿勢や大学の持つ人的資源を広く周知することを目的として開学記念連続講演会を開催した。9月から12月にかけて、7市町(福知山市、与謝野町、宮津市、伊根町、綾部市、舞鶴市、京丹後市)で実施した。7地域で940人の参加があった。	4	年度計画の内容は実施できている。しかし、福知山公立大学開学記念連続講演会が主に社会人を対象にしている事業であり、学生の「教育の質の向上」にどう繋がったのか関係性が分かりにくい。したがって、評価3が相当と判断する。	3
	5 就業体験を通じて社会を知るためのインターンシップを実施する。	3年生対象の選択科目「ビジネスインターンシップ」において、地域経営学科の17人(留学生1人除く)全員が受講し、主に福知山市内の企業や行政機関(合計12機関)で約2週間の実地研修を行った。医療福祉マネジメント学科についても、3年生4人全員が福知山市民病院にて病院実習を行った。	3		3